

施策8	こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり	主管部長(課)	教育委員会事務局次長(地域教育課)
		関係部長(課)	地域振興部長(青少年課)、こども未来部長(こども家庭支援課)、教育委員会事務局次長(庶務課)

1 施策目標

江東区の目指す姿										
地域住民・団体と区が一体となり、こどもの安全・安心な居場所・環境を構築することにより、こどもたちが健やかに成長しています。										
施策実現に関する指標(代表指標)										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
江東きッズクラブ利用児童の満足度		%	87.1	90.5	89.0	90.7			92	地域教育課
指標選定理由		放課後の安心で健やかな居場所の確保に向けた区の取り組み状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆保護者アンケートにおいて、江東きッズクラブ利用児童の満足度は、平成30年度から令和2年度まで対前年比で3ポイント程度上昇している。3年度は減少に転じたが、4年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止により行っていなかったイベントを徐々に開催したことから、1.7ポイント上昇し、依然として高い水準で推移している。 ◆2年度から入退室管理システムを導入したことや、スポット利用(*)を新たに開始したこと等が上昇の要因と考えられる。 *スポット利用…保護者の突発的な事情に対応するため、A登録利用者がB登録と同様の時間を利用できる制度								
	4 (順調)									
施策コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		4,573,125千円	4,260,547千円	4,785,279千円	4,915,955千円					
事業費		3,604,531千円	3,417,720千円	3,858,034千円	3,927,794千円					
人件費		968,594千円	842,827千円	927,245千円	988,161千円					
《参考》 施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)										
◆国の「新・放課後子ども総合プラン」(H30.9策定)では、全小学校区で江東きッズクラブに相当する一体型・連携型事業の実施、学校施設の徹底活用等を目標に掲げている。 ◆都の「『未来の東京』戦略」(R3.3策定)において、放課後における児童の居場所の充実が必要であるとし、学童クラブの待機児童解消に向けた計画策定と環境整備を行う区市町村を支援することとした。 ◆国の「児童館ガイドライン」(H30.10改正)において、児童館は地域のこども・子育て支援に資する児童福祉施設として更なる機能拡充を目指すことが示されている。 ◆登下校時のこどもの安全確保のため、国は平成30年6月に「登下校防犯プラン」を策定した。										

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1	こどもが安全で健やかに過ごすことができる居場所の確保
主な取組	「江東区放課後こどもプラン」に基づく取り組みの推進、「児童館に関する運営方針」に基づく児童館の管理運営
取組内容	◆5年度は、きッズクラブB登録における保留児童解消に向け、2つのクラブにて定員増にかかる緊急対策を実施予定。 ◆児童館は、他の子育て施設等と連携・相互補完しながら、児童館の利用者層毎のニーズに合わせてサービス提供を図るとともに、「児童館に関する運営方針」に基づいた管理運営を進めている。
主な実施事業	放課後子どもプラン事業、児童館管理運営事業
取組方針2	こどもの安全を確保する地域環境の創出
主な取組	こども110番の家事業の実施、地域との連携による通学路安全対策の実施
取組内容	◆緊急時の避難場所に適さないオートロックマンションの増加、戸建ての住民や個人経営者の店主の高齢化による退職者の増加等により協力が得にくい状況にあることから、区内中小企業等への協力者募集に努めるとともに、地域団体を通じて区民に対して事業周知を行い地域の防犯意識を高めている。 ◆学校・PTA・教育委員会・警察・道路管理者からなる「江東区通学路交通安全対策連絡会」を設置し、定期的に通学路の交通安全点検を行うことにより、危険個所の抽出及び対策の検討・実施、改善等を行う。
主な実施事業	こども110番の家事業、学校安全対策事業、児童交通安全事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1	こどもが安全で健やかに過ごすことができる居場所の確保	主管部長(課)	教育委員会事務局次長(地域教育課)							
		関係部長(課)	こども未来部長(こども家庭支援課)							
<p>「江東区放課後こどもプラン」に基づき、「江東きっずクラブ」の質的向上、効果的・効率的な仕組みづくりを推進するとともに、保留児童対策や活動場所の環境改善、地域との連携等に取り組みます。また、児童館においては、他の子育て関連施設等と連携しながら、発達段階に合わせたこどもの育ちの支援に取り組みます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
江東きっずクラブB登録を利用できなかった児童数		人	132	303	312	313	117		0	地域教育課
指標選定理由		B登録の利用を希望する全児童の受入体制の構築状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆マンション等宅地開発等や共働き家庭の増加などによる児童数の増加が続き、4年度までは保留児童数が増加していたが、4年度に大幅に定員数を増やしたことから、5年度の保留児童数は減少した。								
	1 (停滞)									
取組コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		4,305,253千円	4,028,045千円	4,517,546千円	4,668,881千円					
事業費		3,359,651千円	3,205,234千円	3,608,011千円	3,700,122千円					
人件費		945,602千円	822,811千円	909,535千円	968,759千円					
成果と課題										
<p>◆定員超過によりB登録を利用できない児童数は依然高い数値で推移している。4年度は、申込が定員を超過していた10クラブにおいて新たな活動スペースを確保し、保留児童の解消を図った。</p> <p>◆児童館については、子ども家庭支援センターと連携し、定期的な地域会議や合同イベントを実施した。また、こどもプラザや青少年交流プラザ等の行事に参加し積極的にPRするとともに利用者数の向上を図った。</p> <p>◆3年度のWi-Fi導入に続き、4年度はi-Padを導入し、小中高生それぞれのニーズに応じたプログラムの充実を検討している。</p>										

取組方針2	こどもの安全を確保する地域環境の創出	主管部長(課)	地域振興部長(青少年課)							
		関係部長(課)	教育委員会事務局次長(庶務課)							
<p>協力者確保のため、こども110番の家事業の周知に努めるとともに、実効性を高める方策や新たな協力形態について検討を進め、地域住民や事業者など地域ぐるみで子どもたちを犯罪から守る事業を推進します。また、登下校時の地域住民等による見守りや通学路防犯カメラの活用、警察などの関係機関との情報共有や安全点検により、通学路における児童の安全の確保に努めます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合		%	49.4	47.7	49.7	48.5			60	青少年課
指標選定理由		こどもの安全を確保する環境の構築に向けた区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆4年度末時点のこども110番の家の協力者数は、前年度と比較して増えているものの、指標の値は1.2ポイント減少となった。小学校区ごとに作成している「こども110番の家マップ」は、学校を通じて区立小学校全児童及び区立中学校全生徒に配布しているが、こどものいる世帯以外の区民には取り組みが認知されていないと分析できる。								
	*									
取組コストの状況										
種別		4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト		267,872千円	232,502千円	267,733千円	247,074千円					
事業費		244,880千円	212,486千円	250,023千円	227,672千円					
人件費		22,992千円	20,016千円	17,710千円	19,402千円					
成果と課題										
<p>◆こども110番の家事業の協力者数確保のため、3年度は商店街連合会や区内中小企業へ、4年度はこどもが立ち寄ることの多いコンビニエンスストアや書店、および日中出入りしやすい郵便局・銀行等の金融機関へ協力募集をした。また、町会に対する個別訪問や、定例会での事業周知・協力依頼を行った。</p> <p>◆こどものいる世帯以外の区民に対し取り組みの周知を図るとともに、地域の協力体制の確保にもつなげていく。</p> <p>◆学校・PTA・教育委員会・警察・道路管理者からなる「江東区通学路交通安全対策連絡会」を設置し、定期的に通学路の交通安全点検を行うことにより、危険箇所の抽出及び対策の検討・実施・改善等を図っている。</p>										

4 一次評価《主管部長による評価》

<p>総評</p>	<p>◆平成30年4月に全46小学校・義務教育学校に江東きっずクラブの開設が完了し、また令和2年4月からは学童クラブも「江東きっずクラブ」に名称を変更し、64クラブとなった。児童数の増加により、特に小学校内クラブにおいてはスペースの確保が難しく、令和4年度に10クラブで保留児童の解消を図ったものの、引き続き定員超過等の課題がある。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>◆「江東区放課後子どもプラン」に基づき、江東きっずクラブの質的向上、効果的・効率的な仕組みづくりを計画的に推進していく。 ◆こども110番の家事業については、個人宅の協力者の減少傾向は続く見込まれるため、引き続き店舗の協力者の増加に向けた取り組みを進める。 ◆「江東区通学路交通安全プログラム」に基づき、地域との連携体制を維持しながら、点検結果に基づく対策実施後の効果の確認や対策の改善・充実を図っていく。</p>

5 外部評価委員会による評価

<p>(令和4年度外部評価実施済施策)</p>

6 二次評価《区の最終評価》 ※4年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

<p>総評</p>	<p>◆指標については現状値から低下している指標もあるが、施策全体としては近年順調に推移しており、施策の進捗状況は概ね順調であると言える。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
<p>実現に向けた取り組み</p>	<p>◆定員超過等が課題となっている江東きっずクラブについて、地域と連携しながら既存の枠組みにとらわれない新たな方策等を検討し、引き続き保留児童の解消及びクラブの量的・質的向上に努める。 ◆「児童館に関する運営方針」に基づき、他の子育て施設等と連携・相互補完しながら、児童館の利用者層毎のニーズに合わせたサービス提供を図るとともに、指定管理者制度の導入や適正配置の検討を進める。 ◆「こども110番の家事業」について、店舗や事業者による協力者の増加に向けた取り組みを進めるとともに、地域団体を通じてこどものいる世帯以外の区民への周知方法を検討する。</p>